

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたくないとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

E-PASS スコアを用いた子宮体癌術後患者の腸閉塞リスクの予測

1. 対象となる患者さん

2019 年 1 月～2024 年 12 月の間に当院で子宮体癌に対する手術を受けられた患者さん
予定症例数：250 例

2. 研究責任者

奈良県立医科大学 産婦人科学講座 山田 有紀

3. 研究の目的と意義

術後腸閉塞は、子宮体癌の手術後に生じる重要な合併症の一つです。腸閉塞を発症すると入院期間が長くなったり、その後の治療開始が遅れたりする可能性があります。E-PASS（Estimation of Physiologic Ability and Surgical Stress：生理学的機能・手術侵襲評価法）は、患者さんの全身状態や手術の負担を総合的に評価する指標です。本研究では、子宮体癌の手術を受けられた患者さんの診療情報を用いて、E-PASS スコアが術後腸閉塞の発症予測に役立つかどうかを検討します。本研究により、将来的に術後腸閉塞のリスクが高い患者さんを早期に把握し、より適切な周術期管理につなげることを目的としています。

4. 研究の方法

5. に示す情報を対象の患者さんのカルテから収集し、診療録（電子カルテ）から収集した情報を用いて E-PASS スコアを算出し、術後腸閉塞発症との関連を検討します。また、術後腸閉塞発症の危険因子について解析を行い、E-PASS CRS（生理学的機能・手術侵襲評価法の総合リスクスコア）の予測因子としての有用性を評価します。

5. 使用する情報

患者背景因子

年齢、身長、体重、BMI、Performance Status（全身状態）、ASA 分類（術前全身状態分類）、既往歴、腹部手術歴、

高血圧、糖尿病、重症心疾患、重症肺疾患、ステロイド内服歴、喫煙歴

疾患関連因子

FIGO 進行期（癌の進行期）、病理組織型

手術関連因子

手術術式、開腹手術または鏡視下手術、手術時間、出血量、輸血の有無、癒着剥離の有無、術後腸閉塞発症の有無、腸閉塞発症日、腸閉塞に対する治療内容

周術期因子

術後在院日数、術後合併症、Clavien-Dindo 分類（術後に起こった合併症の重症度）、術後補助療法開始時期

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

7. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2027 年 3 月 31 日

8. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。本研究は奈良県立医科大学附属病院のみで実施する研究であり、本研究で収集した情報を他の研究機関へ提供することはありません。

9. 研究に関する情報の公開について

本研究の成果は学会発表および学術論文等により公表する予定です。

公表に際しては、研究対象者個人が特定される情報は一切公開しません。

10. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院 産婦人科 山田 有紀

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051

受付時間：平日 9 時 00 分～17 時 00 分（土日祝日を除く）

e-mail：yuki0528@naramed-u.ac.jp

この研究にご自身の情報を使用することを希望されない場合は、2026 年 12 月 31 日までに、上記のお問合せ先へ電話または電子メールでお申し出ください。ただし、お申し出いただいた時点ですでに研究データの解析が終了している場合や、研究成果が学会や学術論文等で公表されている場合には、患者さんの情報を除外できないことがあります。